

令和4年度 第3回宮崎県教育振興基本計画策定懇話会 議事概要（各委員から出された意見の概要）

日時：令和5年1月23日 午後2時から午後3時30分

- 国際理解教育
 - ・ 学校教育だけでなく、社会教育も含めて、外国人の方との交流や架け橋を作るような取組を行うことで、国際理解を深めていけるとよい。
- 特別支援教育の推進
 - ・ 教職員の特別支援教育に関する専門性の向上や人材育成のための研修の構築はありがたい。研修体制だけでなく、教職員が特別支援教育に携わるシステムづくりも必要。
- 食育の推進
 - ・ 「弁当の日」の取組について記載がない。「弁当の日」の記載があることで、取組を推進しやすかった。
 - ・ 「弁当の日」の記載がないことで取組が後退しないように、取組の趣旨について今後も伝えていくことで、食育の拡大・充実につながる。
 - ・ 「弁当の日」に取り組むことが義務のような記載であると、家で作れないという悩みなどが表面化するため、一概に「弁当の日」に特化した言葉を記載することは検討する必要がある。例えば、具体例の1つとして示す方法もある。
- 家庭教育
 - ・ 家庭教育の大切さについては、今後も様々なところで周知してほしい。
- 文化・芸術活動
 - ・ 伝統芸能や文化財継承は、特に小・中学校における保存会の方々との交流が大切である。
 - ・ 文化に関する現状について、学校現場における文化、芸術活動の充実の実態がどのようになっているかについての記載があるとよい。
- キャリア教育
 - ・ キャリア教育プログラムの実践については、県キャリア教育支援センターや各市町村キャリア教育支援センターをはじめ、さまざまな関係機関等と連携・協働し、実践していただきたい。
- その他
 - ・ 施策の取組について、SDGsの指標との関連を示すとよい。
 - ・ 15ページのグラフについては、卒業生の就職希望者を増加させるという観点であるならば、就職率ではなく、就職希望者数についてのグラフの方がよい。
 - ・ 「ウェルビーイング」について、わかりやすい説明を記載した方がよい。
 - ・ 広く県民の皆様理解いただくのであれば、注釈では細かい説明にせず、わかりやすい記載にした方がよい。